

平成30年度 水窪ダム等節水対策について

水窪ダム貯水量及び各河川自流の減少に伴う対応について、水窪ダム放流調整の実施や用水量の確保を下記により実施する。

記

1 水窪ダム放流調整

水窪ダムの放流について、放流調整を実施しない場合、別紙の水窪ダム貯水及び放流計画の貯留制限(黄の太線)が、渇水注意線(青の点線)を下回る状況が予想されます。次の第1次放流計画及び第2次放流計画放流を実施し、平成30年度貯留計画(赤の点線)のとおり、出穂期の用水確保並びに計画的な放流を実施する。

(1) 第1次放流計画（3停4通）

①	7月10日～7月12日	放流量	0.8 m ³ /s
②	7月13日～7月16日	放流量	3.9 m ³ /s
③	7月17日～7月19日	放流量	0.8 m ³ /s

(2) 第2次放流計画

①	7月20日～8月7日	放流量	4.1 m ³ /s
②	8月8日～8月11日	放流量	4.8 m ³ /s
③	8月12日～8月19日	放流量	5.5 m ³ /s
④	8月20日～8月24日	放流量	6.1 m ³ /s
⑤	8月25日～8月28日	放流量	5.4 m ³ /s
⑥	8月29日～8月31日	放流量	4.9 m ³ /s
⑦	9月1日～9月10日	放流量	2.2 m ³ /s

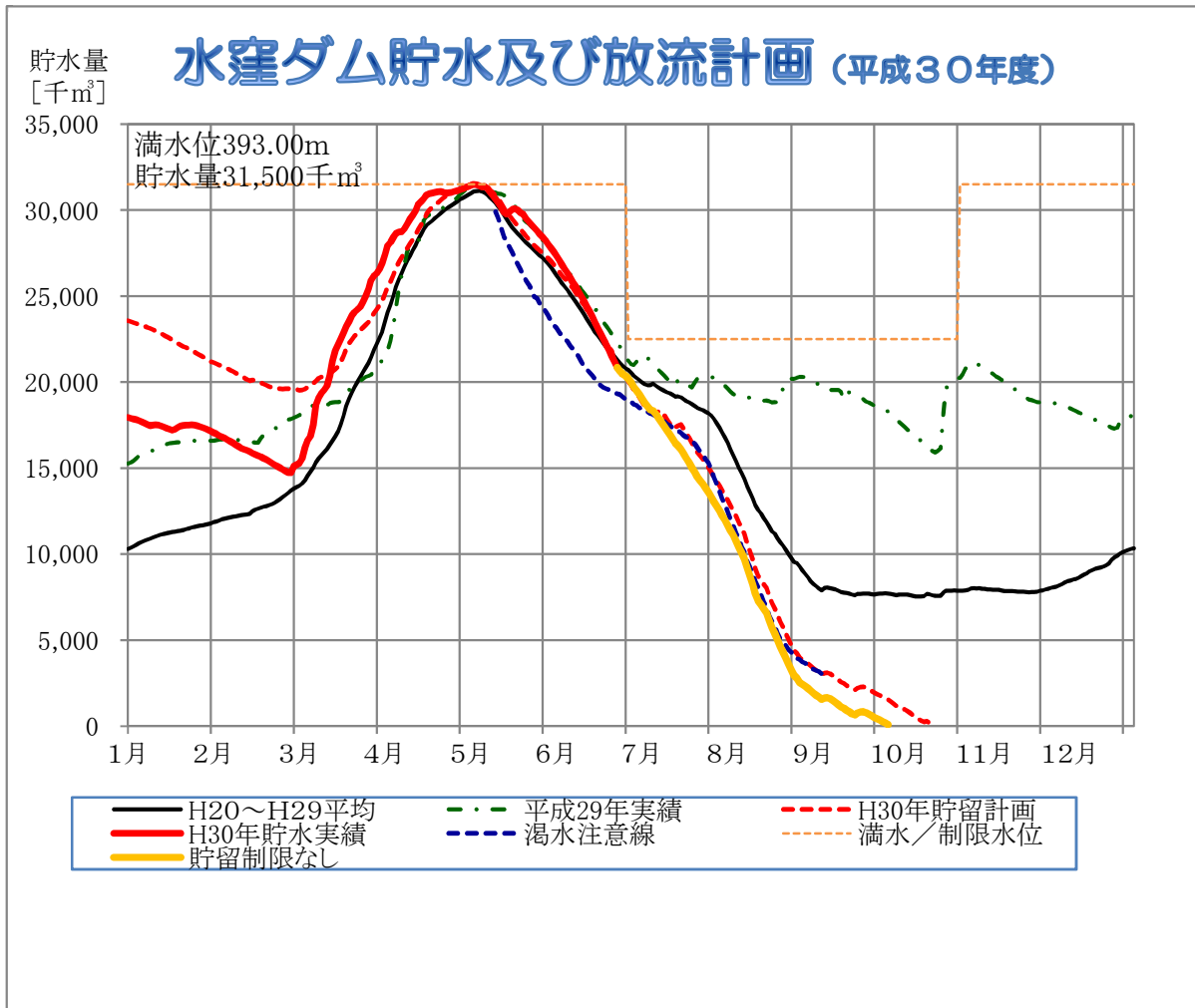
2 用水量の確保

(1) 第1次対策

- ① 既設揚水機の活用
各幹線、準幹線、支線用水路の不足する用水量への補水として効率的に稼働する。
- ② 井堰よりの取水
各河川の状況により取水口整備を図りながら出来る限りの取水を行う。
- ③ ため池
状況に応じて有効に放流する。

(2) 第2次対策

- ① 移動式小型ポンプの臨時的設置
- ② 仮設備による補水の実施
排水路の仮締切り工事を行い、ポンプ、発電機、ホース等のリース（農政局、リース会社等）により補水を行う。



平成30年 6月29日 9:00現在

貯水位 EL 385.09 m

貯水量 20,297.8 千 m^3

貯水率 63.9 %

平年比 96.9 %